



SⅡ学校だより

No.06



小豆沢学びのエリア(志村二小・志村四小・志村二中)

校長 小室 仁一

「夢を力に」

今回は、文部科学省が全国の何十万人もの中学3年生を対象に行った「全国学力・学習状況調査」から、驚くべきデータを一つ紹介します。調査の中で、生徒たちに「将来の夢や目標をもっていますか？」と質問がありました。そして、その回答とテストの点数を照らし合わせたところ、衝撃的な違いがありました。夢や目標を「当てはまる(もっている)」と答えたグループと、「当てはまらない(もっていない)」と答えたグループ。この2つのグループの間には、最も差が開いた数学では、なんと最大18点もの差がついています。国語で、約12点～14点の差。英語では、約15点～17点の差。同じ授業を受け、同じ教科書を使っているのに、夢があるかないかでテストの点数に12点～18点もの大きな差がついているのです。

夢をもっている人は、生まれつき頭が良いからでしょうか。特別な塾に通っているからでしょうか。そうではありません。理由は「勉強に向かう理由」が根本から違うからです。夢や目標がない状態での勉強は、例えるなら「ゴールがどこにあるか分からないマラソン」を走らされているようなものです。「なんで走らなきゃいけないんだ」「いつ終わるんだ」と苦しいばかりで、足が重くなるのは当たり前です。

しかし、夢や目標がある人は違います。「行きたい高校がある」「将来こんな仕事をしてみたい」「部活で最高の成果を出したい」そう思っている人にとって、毎日の勉強や練習は「やらされる作業」ではありません。自分の夢を叶えるための原動力に変わります。ゴールが見えているから、途中で苦しい坂道があっても「あと少し頑張ってみよう」と踏ん張ることができるのです。この日々の小さな粘りの差が、最終的に勉強でいうと10点以上という決定的な差になって現れているのです。つまり、夢をもつということは、単なる憧れや気休めではありません。あなたの中に眠っている才能を極限まで引き出すことができるのです。

皆さんの中に「自分には夢はないよ」と不安になった人がいるかもしれません。「夢や目標」とは、なにも「宇宙飛行士になる」とか「社長になる」といった大きな職業のことだけではありません。「次のテストで前より高い点を取りたい」「行事や部活でみんなと成功体験を味わいたい」「こんなカッコいい大人になりたい」そんな身近な目標や理想の姿でも十分です。大切なのは、「自分はこうなりたい」と自分の心の中にもつことです。もし今、全く思いつかないという人がいたら、今日から「自分の心がワクワクすること」を意識して探してみてください。色々なことに興味をもち、好きなことを見つけること自体が、もう夢に向かう第一歩です。夢や目標は、あなたの能力を何倍にも高めてくれる力です。

ぜひ今日の授業や部活の中で、自分なりの「小さな目標」を一つ決めて取り組んでみてください。その意識の変化が、1年後、3年後のあなたに想像以上に力をつけてくれるはずです。自分の「夢を力に」未来のために頑張りましょう。



人命救助

本校の9年生の女生徒が塾の帰りに70代から80代の女性の方が階段から滑って転んで頭を打ち血が出ていたのを見つけました。すぐさま「大丈夫ですか」と声をかけ、周りの方と協力し、119番に連絡し、救急車を呼び対応した。という報告がありました。そのような場面に遭遇したら、自ら進んでなかなか対応できることはありません。このような行動がとれることはとても素晴らしいことです。志村2中の誇りです。

板橋地域巡り(7年生)

板橋地域巡りが10月9日(金)に実施されました。班それぞれに地域を選択し、写真や動画を用いて板橋区PR動画を制作します。



職場体験(8年生)

職場体験に10月13日～15日で実施されました。39事業所が受け入れてくれました。生徒たちは楽しそうに職場体験を行っていました。



修学旅行(9年生)

修学旅行に10月12日～14日で行ってきました。さすが9年生、班行動でも時間を守り、どの班もしっかりと行動できました。宿の方や看護師さんから「生徒の皆さん、挨拶が本当に素晴らしく一つ一つの行動も意識高く、このような落ち着いた学校があるんですね」と驚かれました。



生徒の活躍

ソフトテニス部	令和8年ソフトテニス新人大会	個人戦	Hさん、Kさんペア	第3位
		団体戦		第5位
	秋季第4ブロック研修大会	団体戦	男女共	第1位